

総合整備計画書

鹿児島県大島郡和泊町 和泊町  
 (辺地の人口 6,299人 面積 40.4km<sup>2</sup>)

1 辺地の概況

(1) 辺地を構成する町又は字の名称

和泊町全域 (21字)

和泊・和・手々知名・上手々知名・喜美留・出花・伊延・畦布・国頭・西原  
 根折・玉城・大城・皆川・古里・内城・瀬名・永嶺・仁志・谷山・後蘭

(2) 地域の中心の位置

和泊町和泊字東風平537番地9

(3) 辺地度点数 220点

2 公共的施設の整備を必要とする事情

(1) 市町村道・橋りょう

道路は、住民生活、産業活動の振興及び文化の発展を図る上で極めて重要であり、地域の実状に即した整備を進めるとともに、事業の重点化を図り、早期に整備効果が発揮できるように努めている。さらに、老朽化により損傷が激しい箇所があり、年次計画で舗装補修し、生活路線として機能回復を図られる。

(2) 高齢者福祉増進施設

地域包括支援センターは、施設の老朽化が進んでいることや、狭小であることから、プライバシーに配慮した相談スペースの確保が困難である。道路拡張により解体されることから、今回新たに整備することにより、十分な事務所スペースの確保及びプライバシーに配慮した相談室等を整備し、町民福祉の向上を図られる。

(3) 消防施設

消防施設機材等は、年次的に整備充実を図っているが、初動体制の確立を図るため、老朽化した消防自動車や消防車庫の整備を行う必要がある。また、台風常襲地帯であり、常に災害の発生する危険性があることから、消防機材は現状を把握しながら整備することで、安心安全な町民生活の確保を図られる。

(4) 観光・レクリエーション施設

観光施設である都市公園は、整備から30年以上が経過し、台風による塩害等の影響で施設内工作物の劣化が進んでいる。また、レクリエーション施設として活用されていた町民体育館も、整備から約40年経過した平成28年に台風被害による老朽化により解体されている。都市公園施設の長寿命化により安心安全が確保され、レクリエーション施設として総合交流アリーナを整備することで、観光客やスポーツ合宿誘致等による交流人口の増加が期待できる。

(5) 農林漁業経営近代化施設

農業の生産性の向上、農業構造の改善等に資することを目的として農業用排水施設の整備を行っているが、これまで整備した施設の老朽化など事業推進と併せて解決すべき問題が生じている。基幹施設の整備及び関連事業を実施することにより、安定的な用水の確保を図り、農業生産性の向上と農業経営の安定を図られる。

3 公共的施設の整備計画

令和3年度から令和7年度まで5年間

(単位：千円)

施設名	事業主体名	事業費	財源内訳		一般財源のうち 辺地対策事業債 の予定額
			特定財源	一般財源	
市町村道・橋りょう	和泊町	100,000		100,000	100,000
高齢者福祉増進施設	和泊町	127,705	80,000	47,705	47,700
消防施設	和泊町	41,619		41,619	41,500
観光・レクリエーション施設	和泊町	2,860,000	1,430,000	1,430,000	1,430,000
農林漁業経営近代化施設	和泊町	500,000	300,000	200,000	200,000
合計		3,629,324	1,810,000	1,819,324	1,819,200